

新型コロナウイルス関連肺炎についての影響調査

はじめに

「せいしんビジネスクラブ(以下、SBC)」経営研究会開催時に、当地区中小企業における新型コロナウイルス関連肺炎についてアンケートを実施した。概要は以下の通り。

調査概要

調査時期：令和2年2月17日(月)「SBC ベーシックコース経営研究会」開催時

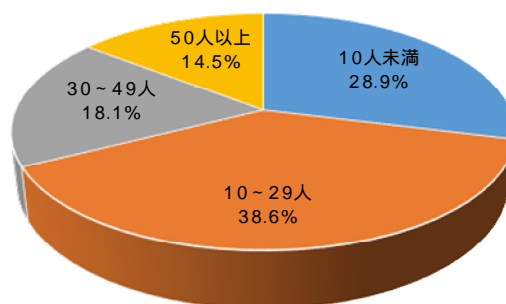
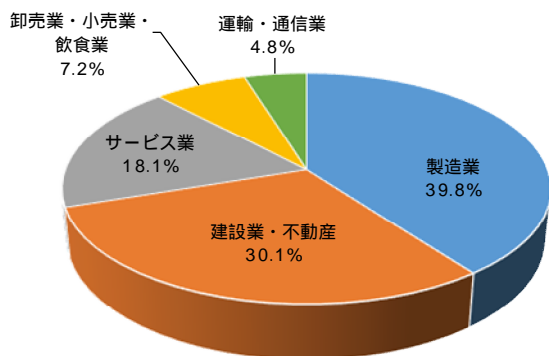
令和2年2月18日(火)「SBC アカデミーコース経営研究会」開催時

調査対象：静岡信用金庫取引先企業の経営者および後継者で構成する異業種交流会「SBC」会員

調査企業数：アンケート対象企業数：87社 有効回答企業数：83社 有効回答率：95.4%

業種内訳 (n=83)

従業員規模内訳 (n=83)



要旨

~ 全体の 1/4 が直接的な影響を受けている。製造業、卸・小売・飲食業で影響が顕著 ~

~ 影響は仕入の納期遅延・販売の商談減少が目立つ ~

~ 感染症対策は様子見の段階 ~

~ 終息時期は不透明であり、今後の展開を図る上で正確な関連情報を求めている ~

事業活動への影響について

- ・「影響はあるが、業績に損失は発生していない」が 18.1%、「影響があり、既に業績に損失が発生している」が 7.2% となった。
- ・業種別では、「影響があり、既に業績に損失が発生している」または「影響はあるが、業績に損失は発生していない」と回答した中小企業は、製造業で 39.4%、卸・小売・飲食業で 33.4% にのぼった。一方で、「影響なし」と回答した企業は、サービス業で 53.3%、建設・不動産業で 48.0% となった。

取引(仕入・販売)への影響について

- ・仕入への影響については、「海外から直接仕入れをしていないが、仕入に対して間接的に影響を受けている」が 42.8% で最多となり、次いで、「納期が遅くなった」が 28.5% であった。
- ・販売への影響については、「商談が減っている」が 33.3%、「海外への直接販売はしていないが、販売に対し間接的な影響が出ている」が 28.5%、「納期に支障が出た」が 19.0%、「海外への売上が減少した」が 9.5% となった。

講じた感染症対策について

- ・「従業員への感染予防啓発」(39.8%) が最多となり、次いで「情報の収集」(30.1%) となった。予防対策のための機器整備」は 4.8%、「来社者に対する感染予防」は 3.6% にとどまり、「何も対策はとっていない」と回答した企業も 26.5% あった。

政府などに望む対策について

- ・「迅速かつ正確な関連情報の提供」が 81.9% で最多となり、次いで、「各種相談機能の充実」が 26.5% となった。

本アンケートの数値は小数点第二位を四捨五入しております。